

2011年度2月立命館大学大学院（2011年2月13日実施）

言語教育情報研究科 言語教育情報専攻（修士課程）

〔言語教育学コース日本語教育学プログラム〕

## 入学試験問題

一般入学試験 社会人一般入学試験 外国人留学生入学試験
-----------------------------------

## 日本語

入試方式	試験時間	解答方法
一般入学試験	100分	問Ⅰ、問Ⅱ、問Ⅲのすべてを解答
社会人一般入学試験 外国人留学生入学試験	80分	問Ⅰ、問Ⅱのみを解答

（途中退室はできません。）

### 解答にあたっての注意

1. 解答は、設問ごとに指定の答案用紙を使用すること。
2. 配布されたすべての答案用紙に受験番号・氏名を記入すること。
3. 答案用紙は1枚ずつ配布します。1枚目の表面・裏面を使用して、2枚目が必要となった場合は挙手をする。試験監督者が配布します。
4. 辞書の使用は認めない。

\*この問題冊子は、試験終了後に回収します。

問Ⅰ. (この問題はすべての入試方式の受験者が解答すること)

「コンピューター媒介コミュニケーション」(メール、チャット等)に関連した研究テーマを考え、1学期で完成させる研究の計画を立てなさい。計画では、研究目的(何を明らかにしようとするのか)、収集するデータの種類、収集の方法、そして、それがどのように日本語教育に役立つのかということについても言及しなさい。

問Ⅱ. (この問題はすべての入試方式の受験者が解答すること)

「広島にも行った」といった文と「夜もふけてきた」といった文を比べて、「も」という助詞がどのような意味を持ちうるかを説明しなさい。この2文のどちらとも異なるような意味の「も」があれば、それについても論じなさい。

問Ⅲ. (この問題は一般入学試験方式の受験者のみ解答すること。解答にあたっては、表紙の解答方法の指示に従うこと)

「自律的学び」の長所と短所について述べなさい。